

日本宇宙少年団和歌山分団 3周年記念  
リビング絵画コンテスト作品展  
フォルテワジマで開催中

夢とアイデアがあふれる絵画作品 素直な心で表現した力作がズラリ

主催：和歌山リビング新聞社、日本宇宙少年団和歌山分団 後援：和歌山県教育委員会、和歌山市教育委員会

子供たちの宇宙に憧れ、夢見る心を応援しようと、和歌山リビング新聞社は「宇宙を旅するボク・私のロケット」をテーマに絵画コンテストを実施しました。弊社は「日本宇宙少年団（YAC・ヤック）和歌山分団」を運営しており、今回の絵画展は、和歌山分団が今年8月で設立3周年を記念して実施したものです。小学生から51点もの作品が寄せられました。

審査は、和歌山大学宇宙教育研究所の秋山演亮所長とイラストレーターの池下章裕さんに依頼。審査の結果、最優秀賞は峪紳大朗くん（吹上小学校4年生）、優秀賞は谷萌衣さん（高松小学校4年生）、細川想来さん（和歌山大学教育学部附属小学校1年生）、佳作に、平賀未奈子さん（広瀬小学校5年生）、上山歌奈子さん（山口小学校4年生）、細川大輔くん（宮小学校5年生）、中谷あおいさん（智弁学園和歌山小学校2年生）、山本悠太くん（楠見東小学校4年生）が選ばれました。

作品はフォルテワジマ（和歌山市本町2-1）の2階ギャラリーで展示されています。期間は9月11日（火）～17日（祝）、午前10時～午後7時まで。



応募作品50点が展示されています



最優秀賞、優秀賞、佳作作品にも注目